

令和6年2月15日
青森河川国道事務所

かみきた
上北自動車道 全線開通 1年後の整備効果について
～地域産業の活性化を支援～

国土交通省が事業を進めてまいりました国道45号天間林道路（七戸IC～七戸北IC）について令和4年11月27日に開通し、上北自動車道が全線開通となりました。

今般、開通後1年の整備効果をとりとまとめましたので、お知らせします。

<概要>

■天間林道路の開通により、交通量が増加！

- ・天間林道路の交通量は約8,900台/日、周辺道路の交通量は減少し、交通負荷が軽減。
- ・既開通区間である上北天間林道路の交通量は約6,200台/日から約10,800台/日に増加。

■青森-八戸間が近くに！

- ・青森-八戸間の所要時間が約30分短縮。 冬期間における所要時間のばらつきが半減。

■沿線企業の立地活性化に寄与！

- ・三八上北地域における工業団地の企業数は約50社増加。
- ・上北自動車道沿線の金矢工業団地では国内最大規模の木材加工工場が立地（H27新設、H31増設）、R4には運送業者が冷蔵倉庫を新設。

■三八上北地域からの輸送安定化に寄与！

- ・三八上北地域から青森市への輸送時間短縮や安定走行により、配送遅延や荷痛みを回避。

■国内最大級の朝市の活性化を支援！

- ・館鼻岸壁朝市では来場者が約5,000人/日増加。
- ・青森・津軽方面や上北・下北方面からの来訪者も増加。

■救急搬送の速達性・安定性が大幅に向上！

- ・東北町から八戸市民病院までの所要時間が約28分短縮、急ブレーキの発生頻度が減少。

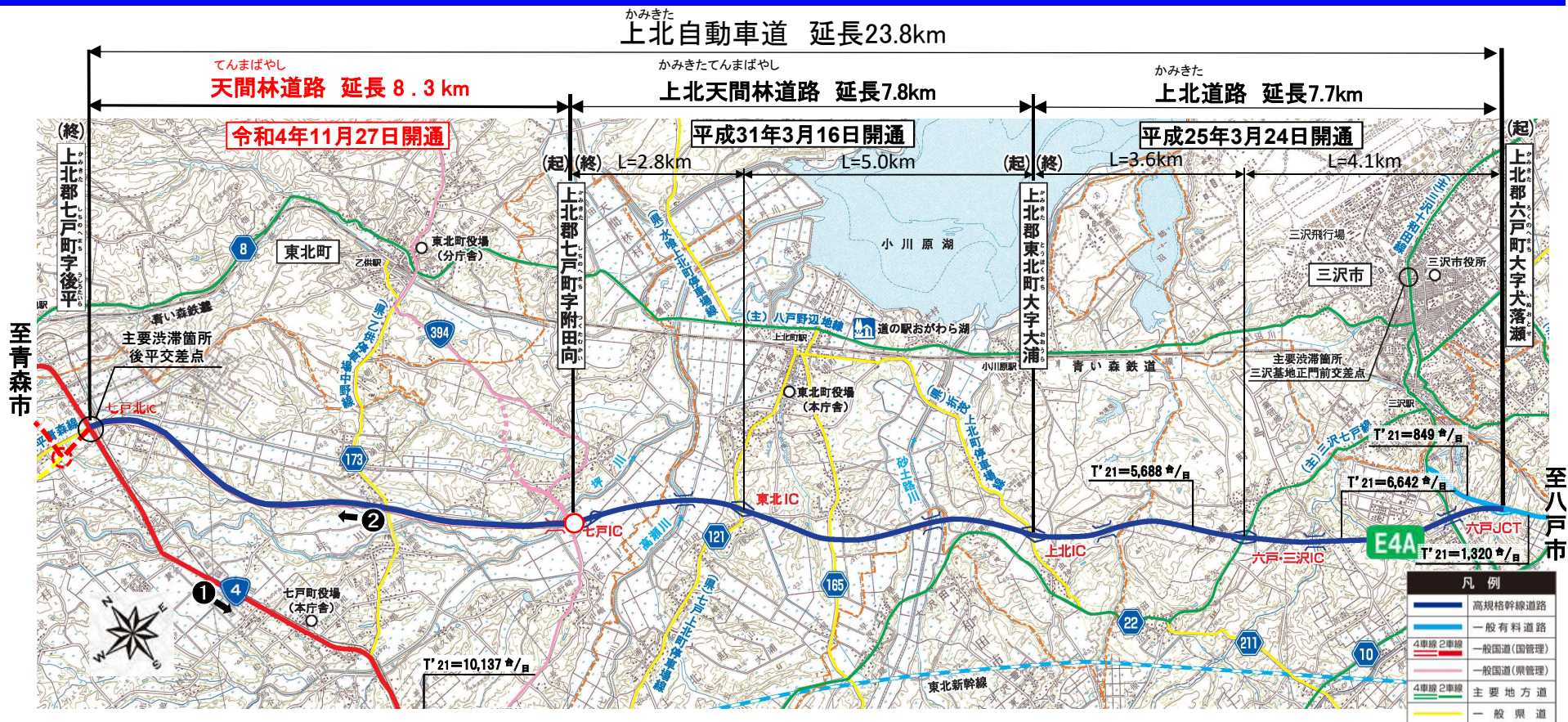
<記者発表先：青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社>

問 合 せ 先

国土交通省 東北地方整備局 青森河川国道事務所 調査課

調査課長 ながみね たけひさ 長嶺 偉久 (直通) TEL 017-734-4570 (内線 451)

かみきた 上北自動車道 位置図



▼青森県位置図



▼天間林道路開通前(国道4号)の状況(冬期)



▼天間林道路開通後の状況(冬期)



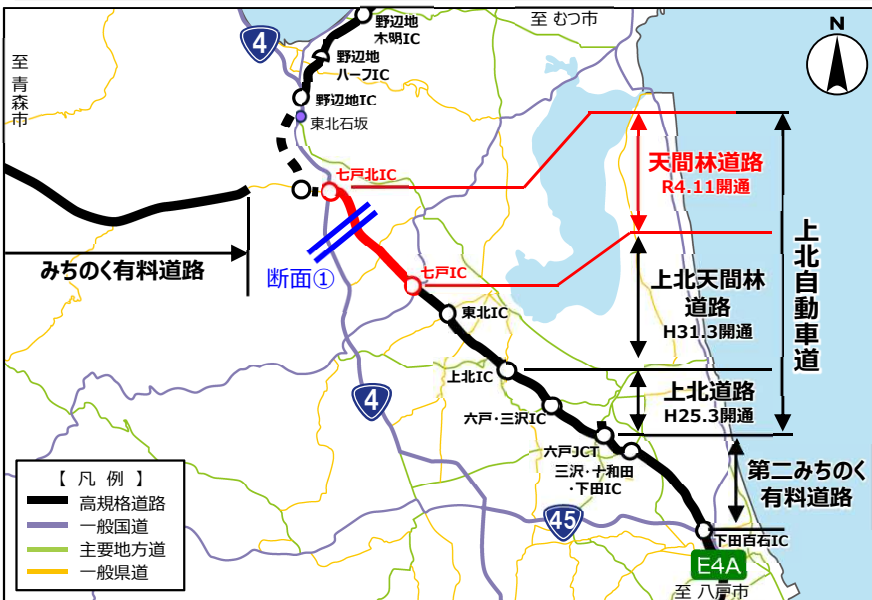
天間林道路の開通により、交通量が増加！

●天間林道路区間の交通状況

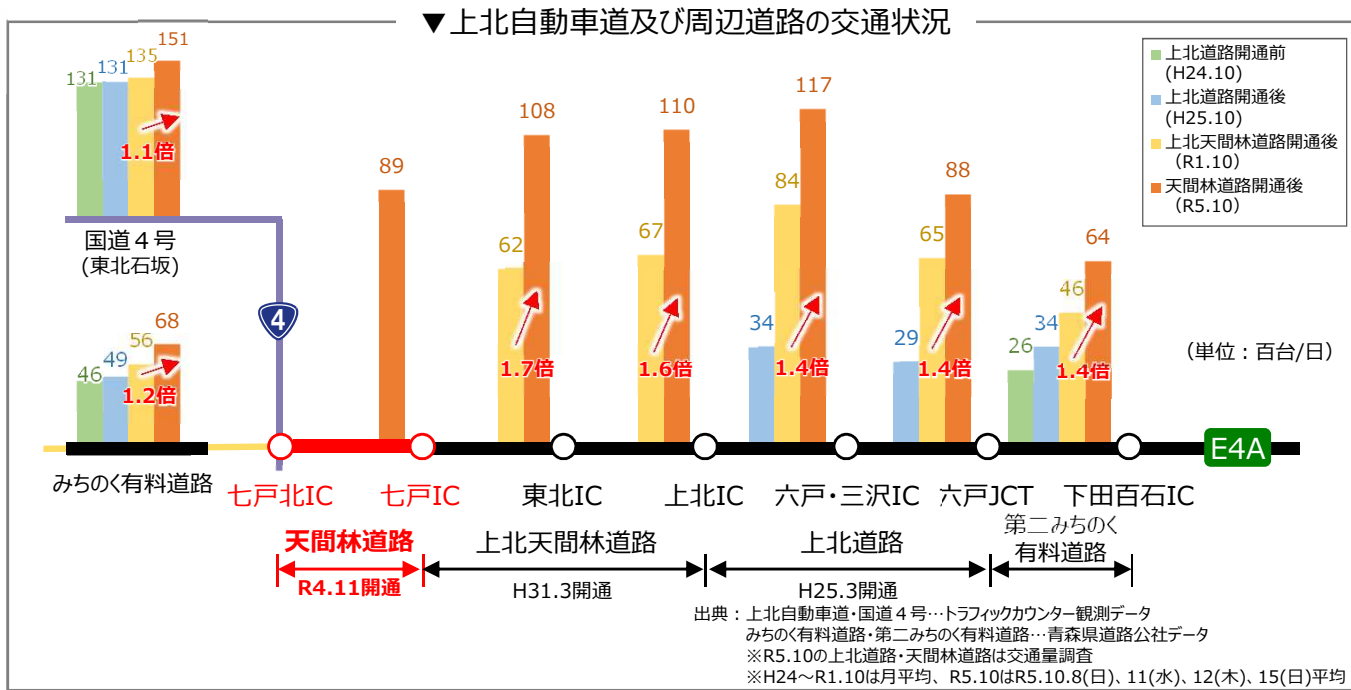
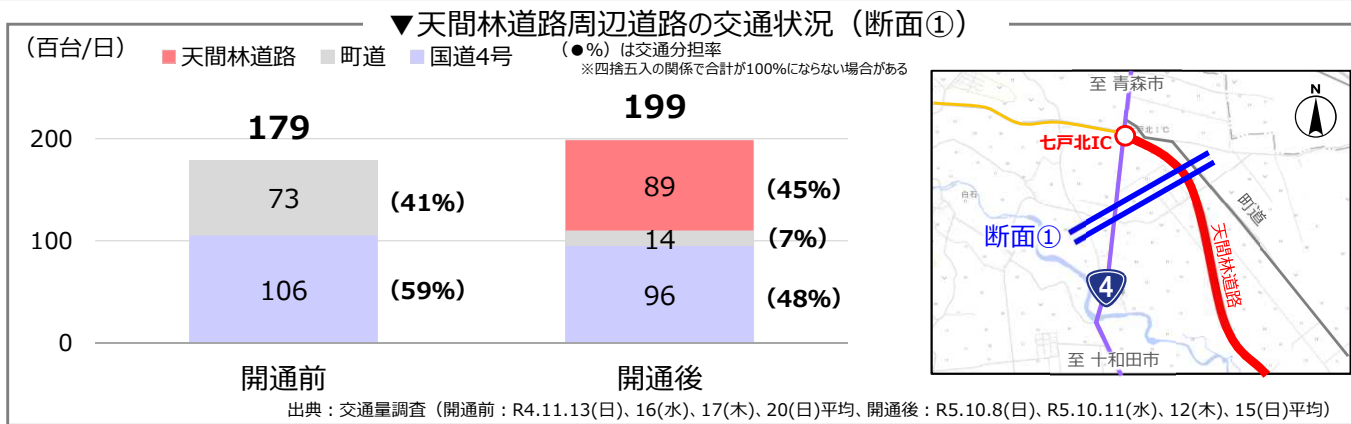
- ・天間林道路（七戸IC～七戸北IC）の交通量は約8,900台/日。
- ・国道4号の交通量は約1,000台/日減少、町道の交通量は約5,900台/日減少し、周辺道路の交通負荷が軽減。

●既開通区間の交通状況

- ・天間林道路開通後、上北天間林道路（東北IC～七戸IC）の交通量は約6,200台/日から約10,800台/日に増加。
- ・上北自動車道に近接するみちのく有料道路の交通量は約5,600台/日から約6,800台/日に増加。

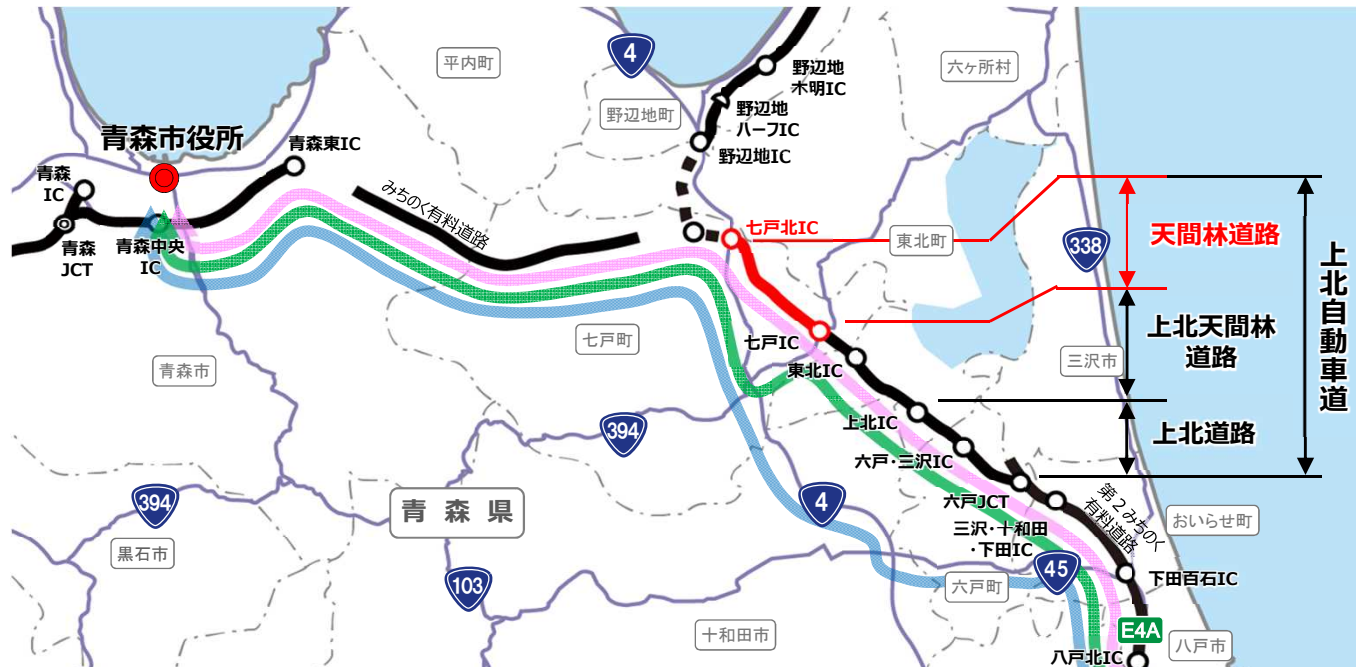


▼天間林道路の状況

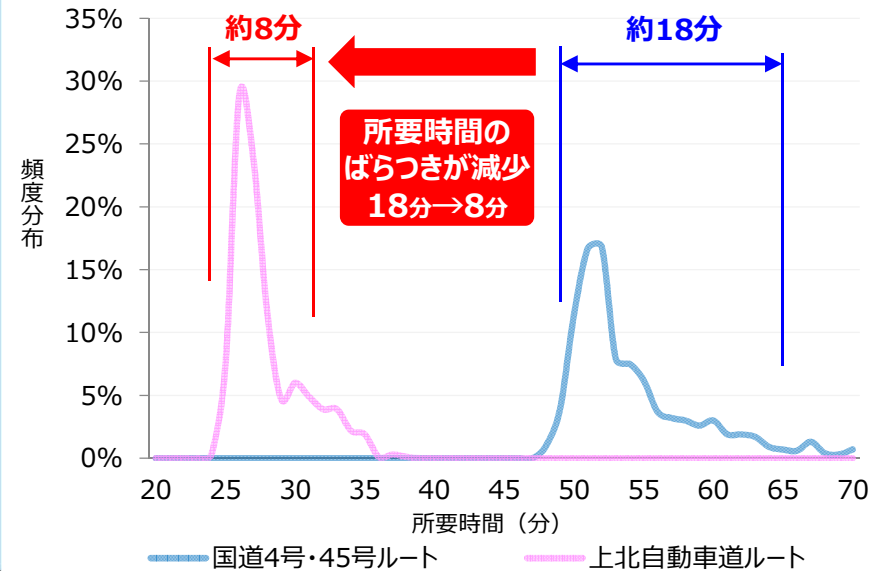


青森～八戸間が近くに！

- ◆上北自動車道の開通に伴い、青森～八戸間の所要時間が約30分短縮。
- ◆上北自動車道ルートでは、国道4号・45号ルートに比べ、冬期間における所要時間のばらつきが半減。
- ◆上北自動車道の開通による所要時間の短縮により青森～八戸間が近くなり、ドライバーの疲労軽減や定時性の向上に寄与。



▼国道4号・45号ルートと上北自動車道ルートの冬期間における所要時間のばらつき(七戸北IC交差点～下田百石IC間)



上北自動車道ルートでは、冬期間における所要時間のばらつきが半減

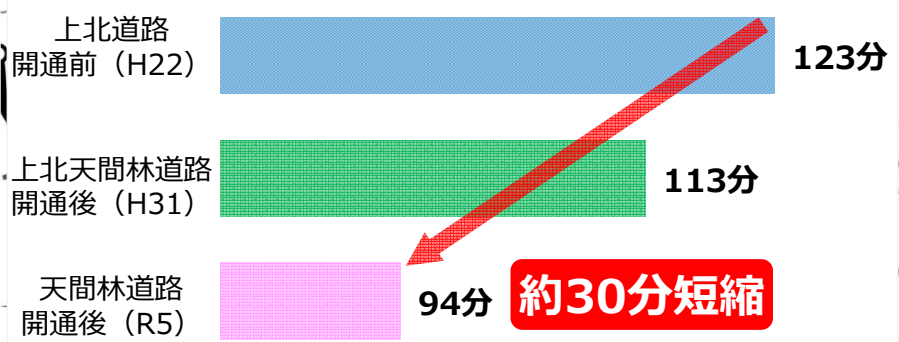
出典：ETC2.0データ(R4.12月～R5.2月(平日)、昼間12時間)
所要時間のばらつきは特異値(所要時間の上位5%、下位5%)を除いた時間差より評価

【利用者の声】

- 八戸から青森市へ移動する際の時間が圧倒的に短縮され、ほとんど一般道を走ることなく移動できることから、**運転も楽であり、移動時間を計算しやすくなり、かなり利便性を感じています。**

(R5.9ヒアリング結果)

▼青森～八戸市間の所要時間の変化



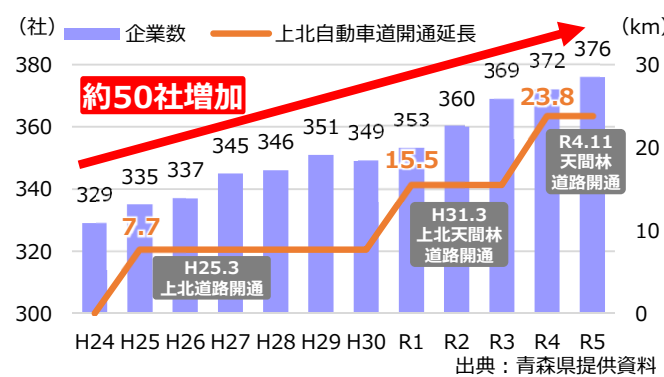
出典：上北道路開通前：H22全国道路・街路交通情勢調査(12時間平均旅行速度)
上北天間林道路開通後：R3全国道路・街路交通情勢調査(12時間平均旅行速度)
天間林道路開通後：ETC2.0データ(R5.5 平日 12時間平均旅行速度)

沿線企業の立地活性化に寄与！

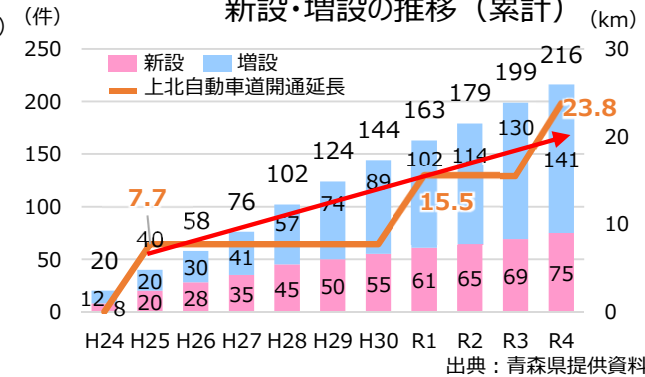
- ◆三八上北地域における工業団地の企業数は、上北自動車道の開通前に比べ約50社増加。
- ◆沿線地域では上北自動車道の開通に伴い、工場の新設や増設が進展。金矢工業団地では、H27に国内最大規模の木材加工工場が新設され、H31には新工場を増設。R4.11には運送業者が地域の特産品を運ぶ際の拠点として冷蔵倉庫を新設。
- ◆上北自動車道の整備などを背景とした企業立地が進展し、沿線企業の立地活性化に寄与。



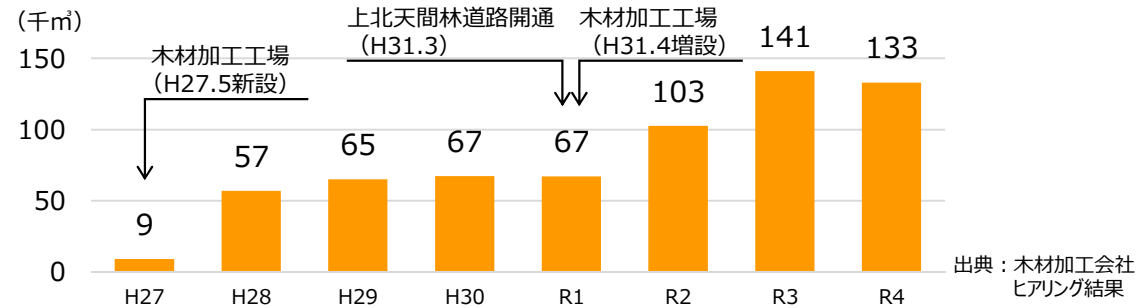
▼三八上北地域における工業団地の企業数推移



▼三八上北地域における企業の
新設・増設の推移 (累計)



▼金矢工業団地内の木材加工会社の製品出荷量推移



【木材加工会社の声】

- ・金矢工業団地への立地は、上北自動車道への交通アクセスの良さも理由の1つとなっている。
- ・下北地域、東青・津軽地域から木材を搬入するほとんどのトラックは上北自動車道を利用。原木搬入、製品出荷の運行時間短縮や運転手の疲労軽減や荷崩れの不安解消が図られている。
(R4.12、R5.10 ヒアリング結果)

【青森県の声】

- ・沿線の金矢工業団地についてはR3年頃から問い合わせが増えており、上北自動車道の全線開通が影響しているものと考えられる。
- ・金矢工業団地の立地環境の説明に際しては、立地のメリットとして、六戸・三沢ICから車で2分とスムーズなアクセスができる旨をパンフレット等に掲載し、企業訪問等でPRしている。
(R5.11 ヒアリング結果)

三八上北地域からの輸送安定化に寄与！

- ◆青森県では、H27.4より新たな流通サービスとして『A!Premium』の輸送サービスを開始。国内向けは3年連続過去最多を更新し、R4年度は『A!Premium』をきっかけとした取引を含めると過去最多を更新。R4.8からは青森空港を利用した海外向け輸送が開始。
- ◆上北自動車道の開通による輸送時間短縮や安定走行により、配送遅延や荷痛みの回避など輸送安定化に寄与。

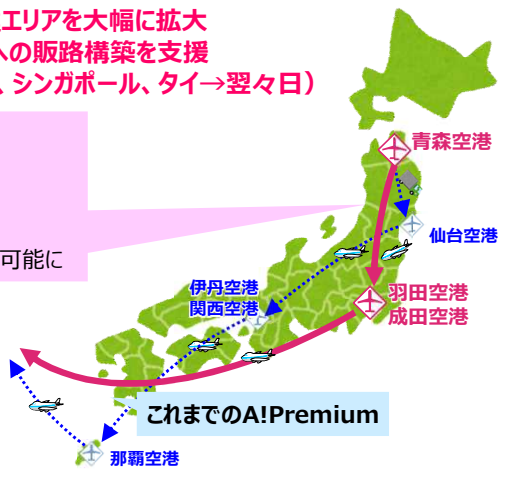
『A!Premium』のサービス

- ★航空機を使用したスピード配送で、翌日午前中配達エリアを大幅に拡大
- ★鮮度、品質を維持した「保冷一貫輸送」で、西日本への販路構築を支援
- ★アジア圏への最短翌日配送（香港、台湾→翌日中、シンガポール、タイ→翌々日）

現在のA!Premium

- ・R4.8から青森空港を活用した海外輸送を開始
- ・締切時間が緩和することで、利用者の拡大に期待
- ・県内全域から当日中の集荷が可能に
- ・今後青森空港の国際線が再開されれば直行便での輸送も可能に

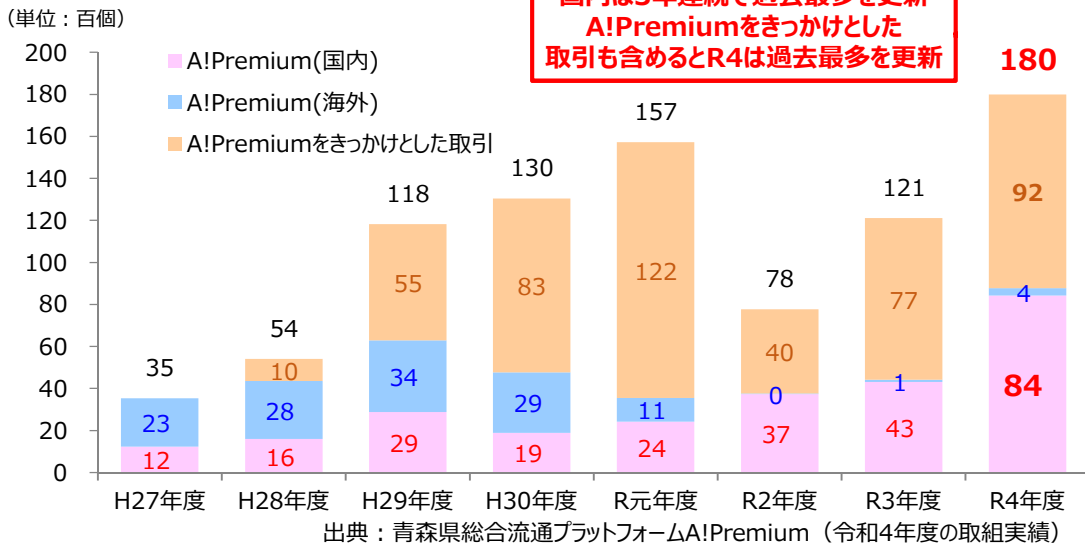
ASIA
香港・台湾・
シンガポール・タイ



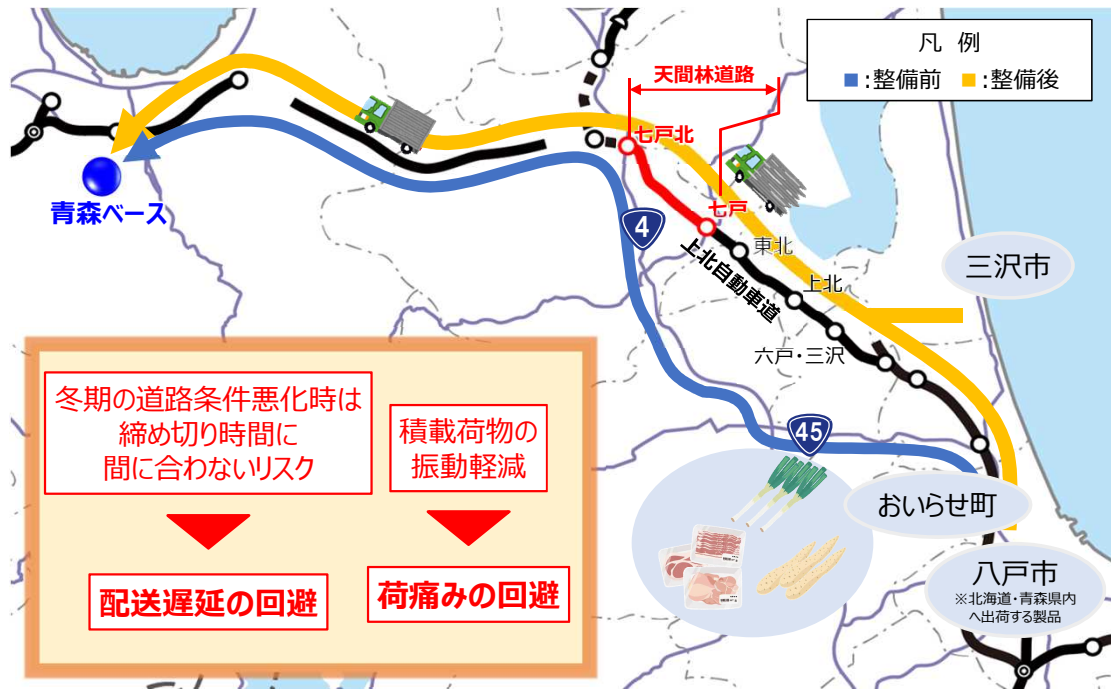
これまでのA!Premium

※令和2年6月から陸送での特別運行に対応中。
(中部・関西は翌日午後お届け、中四国・九州・沖縄は翌々日お届け)
(青森県資料より)

『A!Premium』取扱量の推移



上北自動車道を利用するA!Premiumの輸送ルート



【青森県港湾空港課の声】

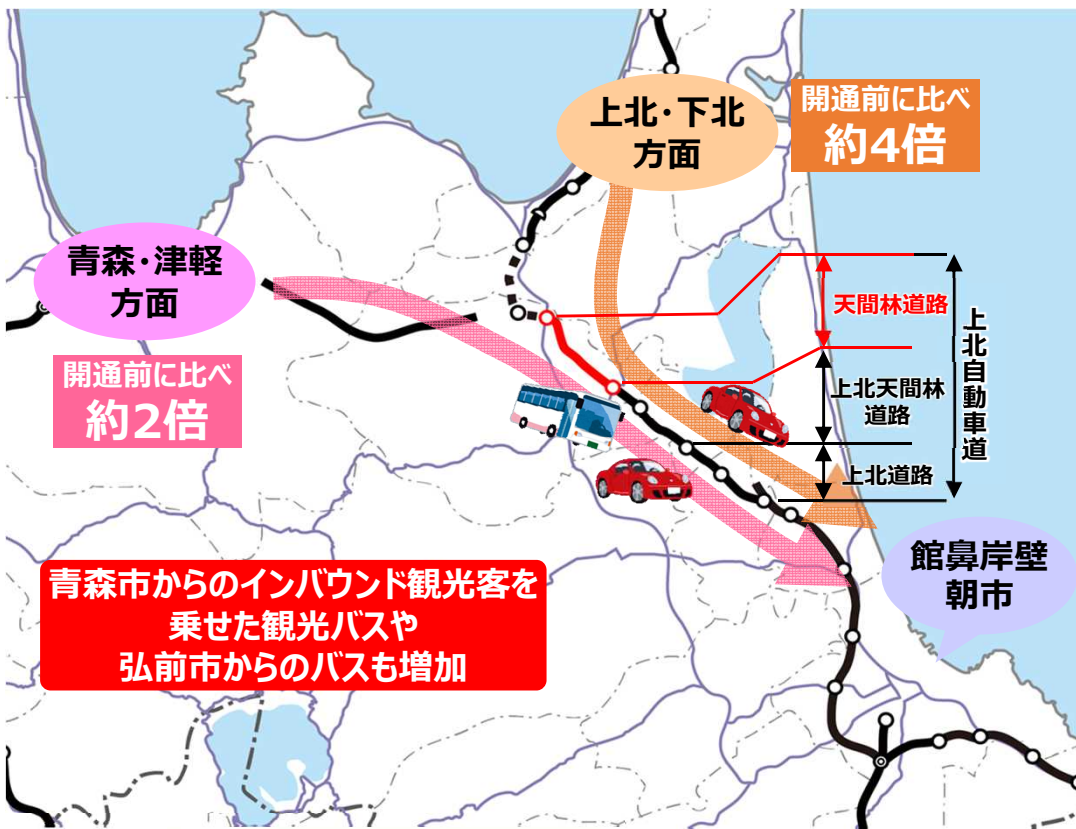
- ・上北自動車道の開通により、上北方面から青森市の集荷場へのアクセスが向上した。
- ・R4年の青森空港を活用した海外輸送の開始は、これまでと比べて利用者（出荷者）の出荷時間が遅くなることから、今後の利用者の拡大につながるものと期待している。
(R4.8、R5.10 ヒアリング結果)

【物流業者の声】

- ・三八上北地域からの集荷は全体の取扱量の増加に伴い堅調に推移している。
- ・集荷においては、上北自動車道が整備されたことで、配送遅延リスクの回避につながった。
- ・また、道路開通前はまれに荷崩れを起こすことがあったが、整備された道路を走行することで荷崩れがなくなり、安定走行が可能となった。
(R5.10 ヒアリング結果)

国内最大級の朝市の活性化を支援！

- ◆八戸市の館鼻岸壁朝市は、日曜日朝に全長約800m、約300店が出店する国内でも最大級の朝市。
- ◆上北自動車道全線開通後では、来場者が約5,000人/日増加。
- ◆上北自動車道の開通により、青森・津軽方面や上北・下北方面からの来訪者も増加しており、国内最大級の朝市の活性化に寄与。

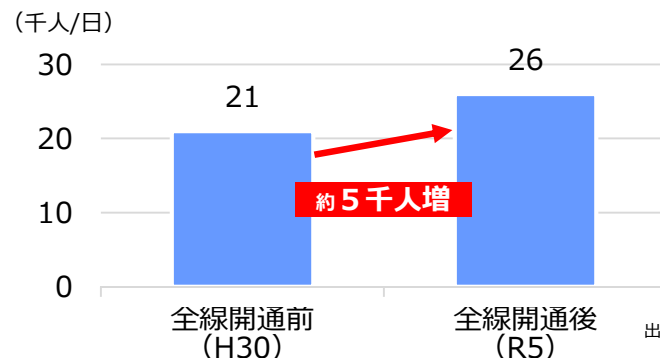


■館鼻岸壁朝市

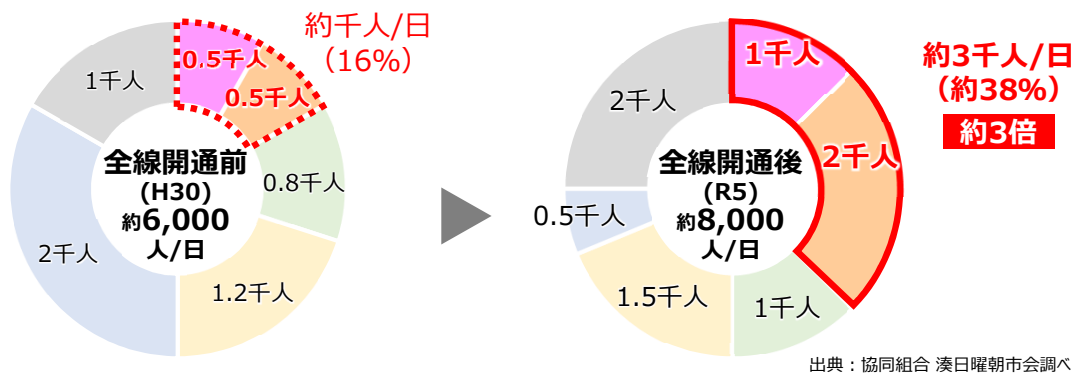
3月中旬から12月までの毎週日曜日に行われる朝市。
約300軒を超える出店と人で漁港が埋め尽くされ、お祭り騒ぎのよう。
水産のまち・八戸らしく、新鮮な魚介や焼き魚はもちろん、格安の野菜、炊き込み御飯やうどんといった食事物から、靴や車などありとあらゆる物が揃う。

(青森観光情報サイトより)

▼館鼻岸壁朝市の入込客数の変化



▼館鼻岸壁朝市の入込客数の変化 (八戸市外からの入込客数の割合)



凡例：青森・津軽方面 上北・下北方面 岩手県内 その他東北 関東以西 海外

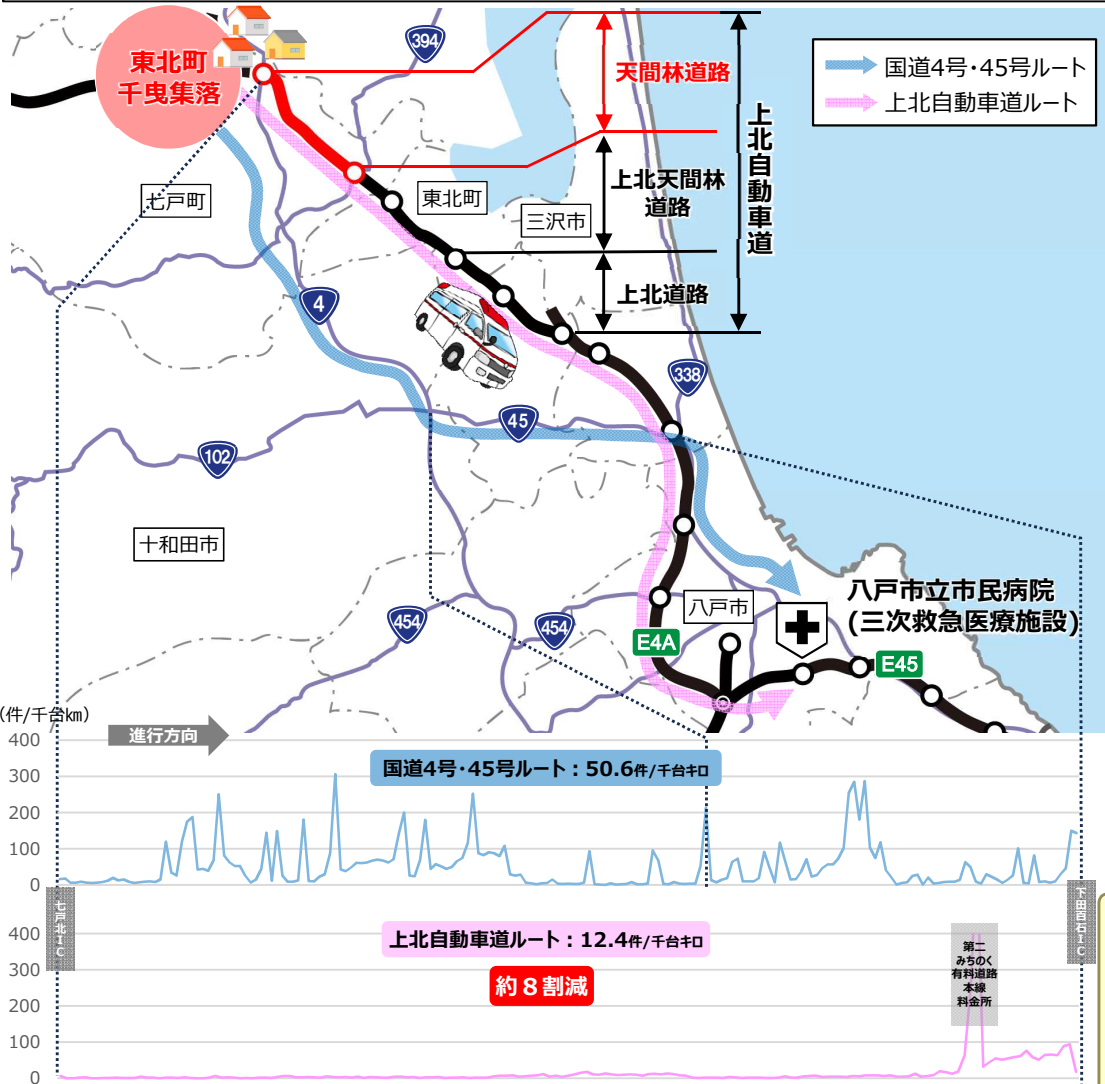
【館鼻岸壁朝市の声】

- 来場者の来訪手段は、自動車による来場者7割、バス2割、電車1割。R5年は弘前市、青森市、秋田市からの観光バスが多くなった。
- 上北自動車道開通により所要時間が短くなったことで、青森方面からの出店者も増えており、出店者からは移動時間が早くなって楽になったと聞いている。また、青森空港からのインバウンド観光客を乗せた観光バスや青森や五所川原方面から車で来る一般のお客様も増えた。

(R5.12 ヒアリング結果)

救急搬送の速達性・安定性が大幅に向上！

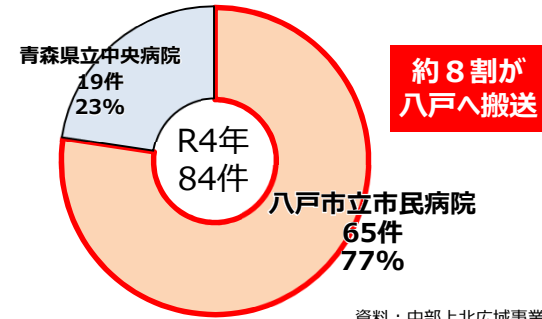
- ◆東北町、七戸町から三次救急医療施設への搬送は、約8割が八戸市立市民病院へ搬送。
- ◆上北自動車道開通後、東北町から八戸市市民病院までの所要時間は全線開通前に比べ約28分短縮されたほか、急ブレーキの発生頻度は減少。
- ◆上北自動車道の開通により、救急搬送の速達性、安定性が向上し、地域の救急医療活動を支援。



出典：ETC2.0データ（R5.5データ）
 200m毎の急挙動発生頻度を0.25G以上を対象に集計
 ※七戸北IC交差点～下田百石IC間で比較

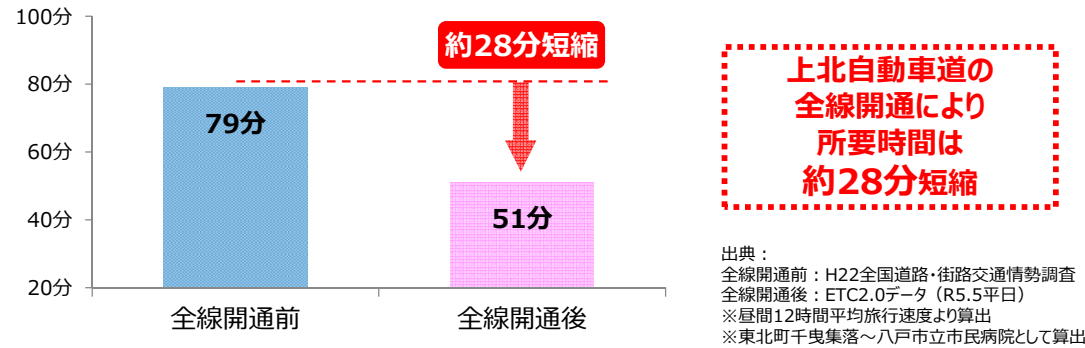
▲上北自動車道の開通前後経路における急ブレーキ発生頻度

▼東北町・七戸町から三次救急医療施設への搬送件数



資料：中部上北広域事業組合消防本部

▼上北自動車道の開通に伴う所要時間の変化（東北町から八戸市立市民病院）



出典：
 全線開通前：H22全国道路・街路交通情勢調査
 全線開通後：ETC2.0データ（R5.5平日）
 ※昼間12時間平均旅行速度より算出
 ※東北町千曳集落～八戸市立市民病院として算出

【中部上北広域事業組合消防本部の声】

- 上北天間林道路の開通後は救急搬送時のルートを上北自動車道に変更し、八戸方面への搬送時間の短縮、重症傷病者が安静にした状態での走行ができるようになり、大変有効だ。搬送時間の短縮は早期医療介入に十分寄与している。
- 現場から八戸市市民病院への搬送時はもちろんのこと、病院からの帰署時のアクセス性も向上しているほか、ICがバランスよく配置されており、利便性も高まっている。

(R5.10 ヒアリング結果)